

『com』…共に、の意味を持つ接頭語。コミュニティ、カンパニー、コモンセンス…その接頭語を持つ多くの単語があります。

小さな小さな無認可の『こもれび共同作業所』が、たくさんの市民の方々と共に建設運動を進め、力を合わせてコムハウスができました。共同・つながる・市民的…コム(com)ハウス(house)は、人がやって来る場所。つながる場所。さまざまな意味と、願いをこめて名付けられました。

コムハウスが閉所になって2日目の夕方。人気のない事務室にいて、心の底から寂しさがこみ上げてきました。泣いたり笑ったり怒ったり…毎日にぎやかな声が響くロータリーに、なかまの姿がありません。「今日はああったね、こうだったね」と悲喜こもごもを共有する同僚の姿もありません。あるのは孤独感でした。いつもと全然違う時間が流れる日々。日を追うごとに、今ここにいない皆のことが浮かびました。家で、療養場所で、グループホームで、それぞれの持ち場で…。不安や心配はもちろんだけど、自分と同じように、底にあるのは寂しさかもしれない。なかまも職員も「寂しさ」と共に踏ん張っている。そんな風に想像すると、会えなくても『共に』と思え、寂しさはしぼんでいきました。

コムハウスに突然やってきた嵐が8月と一緒に過ぎ去り、9月がやって来ました。なかまも職員も戻ってきます。

「おかえりなさい。ここはみんなが共に集う場所、コムハウス」 (堀江)

すまいる班

自齋のご協力ありがとうございました。
今週は規模を縮小しての開所となりましたが、通所されるなかまは皆元気いっほい笑顔をみせてくれました。
春先に植えた種や苗は元気に育ち、トマトときゅうりは沢山収穫する事ができました。アサガオは紫色の花を咲かせています。収穫の時期はそろそろ終盤となりますが、味覚・視覚と楽しむ事ができて良かったと思います。



こもれび班

この度は自齋のご協力ありがとうございました。
静かなこもれびの室内に、日に日に増えていくほかまの声。何だかとても懐かしく感じてしまいました。
スキヤク作業は、先日夏物資が終わりにばかりと思いきや、9月!!
今週から冬物資に向けての準備を始めました。
まだ暑い9月。外のリサイクル作業や室内リサイクル作業も水分をしっかりと体調に気を付けていきたいと思っております。



ねくすと (()) 山田 さん

先週コムハウス職員の協力を得て、無事山雅4周年入会を済ませました。
8/27の試合は見事勝利!! 声を出して応援も再開されたことにより、サポーターの熱い声援を受け、丁度よい形で元気を回復しました。
今週火曜日から水曜日は通常開所。ホスティングも再開され、作業に追われず日曜日。金曜日の午後は選球活動。卓球をしたり、テニスや乗馬をしてからのあそび作りをしたり作業を忘れ楽しみたいと思っております。